



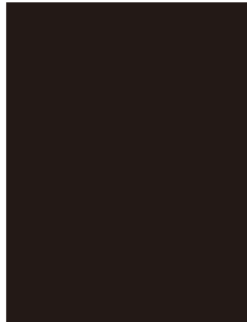
単元 4

奈良・平安時代



学習のまとめ

種類	内容
租	収穫の約3%の稲
調	地方の特産物(絹・綿、塩など)
庸	労役の代わりに麻の布
労役	雑徭 年間60日以内の労働
兵役	衛士 都(1年)
	防人 九州北部の防衛(3年)



▲A農民の負担

▲B螺鈿紫檀五絃琵琶 ▲C8世紀ごろの交通

1 奈良時代(図表のワーク①～⑤、23～25)

- 平城京と国土の支配……710年、奈良に平城京造営→ここから80年余りが奈良時代。唐の都長安にならう。東西の市では各地から送られてきた産物が売買され、**和同開珎**などの貨幣が使われた。都と地方を結ぶ道路が整備され、**駅**を設置。東北地方の蝦夷を従わせるために**多賀城**を築く。九州には**大宰府**を置き、外交や軍事を担当。
- 律令制のもとでの暮らし…税として都に集められた品物は、貴族の給与や朝廷の運営などに使われた(荷札として木簡を使用)。人々は良民(公民)と賤民(奴婢など)に分けられ、6年ごとに戸籍に登録。班田収授法により、6歳以上の男女に口分田をあたえ、死ぬと国に返させた。成年男子を中心に、租・調・庸の税のほか、労役や兵役の負担があり、口分田を捨てて逃げる者もいた。
- 進む開墾…口分田が不足→743年、**墾田永年私財法**が出され、開墾した土地の永久私有を認める。

2 奈良時代の仏教と文化(図表のワーク⑥～⑨、16～20)

- 遣唐使…唐の制度や文化を取り入れるために派遣された。鑑真は苦難の末に来日し、仏教の戒律を伝えた。
- 天平文化…大陸の文化の影響を受けた国際色豊かな、貴族の文化。聖武天皇は国ごとに**国分寺**と**国分尼寺**、都には**東大寺**を建て金銅の大仏を造立←民衆から慕われていた行基も協力。東大寺**正倉院**に聖武天皇の宝物。
- 歴史書と万葉集…神話や国の成り立ちを記した『古事記』・『日本書紀』、地方の国ごとに郷土の地理、産物、伝承などを記した『風土記』。貴族、天皇だけでなく、民衆の和歌を広く集めた『万葉集』がまとめられた。

3 平安時代(図表のワーク⑩～⑫)

- 平安京…桓武天皇が政治の立て直しを図るため、794年、都を現在の京都に移した→約400年間を平安時代。朝廷は東北地方の蝦夷を従わせるため坂上田村麻呂を征夷大將軍に任じて大軍を派遣し、支配地を広げた。
- 藤原氏の摂関政治…藤原氏は娘を天皇の后にし、その子を天皇の位に就け、天皇が幼い時は摂政、成人すると関白として政治を行う→摂関政治。11世紀前半の藤原道長と、その子頼通のころに最も栄える。
- 律令制の変化…10世紀、戸籍や班田収授の制度をやめ、地方の政治を国司に任せる。荘園が認められる。

4 平安時代の仏教と文化(図表のワーク⑬～⑮・⑲・⑳)

- 最澄と空海…平安時代初め、遣唐使とともに唐にわたり、仏教を学んだ最澄が比叡山に延暦寺を建て天台宗、空海が高野山に金剛峯寺を建て真言宗を開いた。
- 東アジアの変化と国風文化…10世紀に宋が中国を、高麗が朝鮮を統一。中国の文化をもとに、日本の風土や生活に合わせた国風文化が栄える。仮名文字の発明で文学がさかんになった。
- 浄土へのあこがれ…10世紀、念仏を唱え阿彌陀仏にすがり、死後に極楽浄土に生まれ変わる、浄土信仰を説く僧が現れる。貴族たちはさかんに阿彌陀堂をつくる。

和歌集…紀貫之らが編集した『古今和歌集』
小説…紫式部の『源氏物語』
随筆…清少納言の『枕草子』
絵画…日本の風景・人物を描いた大和絵
貴族の住居…寝殿造という様式が取り入れられた

政治・社会の動き

▼②の貨幣

律令国家の成立

律令国家の立て直し

攝関政治

平安時代

① …唐の都長安にならって奈良に造営

- ・ 広い道路によって碁盤^{ごばん}の目状に区切る

・東西の市で②などの貨幣が使用される

・都と地方を結ぶ道路を整備 → ③ を設置

・④ …九州地方の外交・軍事の拠点きょてん

・多賀城…東北地方の蝦夷支配の拠点

743年、⑤
↓
貴族や寺社の所有地…後の荘園

794年、⑩ 天皇が平安京に都を移した

- ・坂上田村麻呂が征夷大將軍に任じられ、東北地方の蝦夷を平定

・遣唐使の停止←^{すがわらのみちざね}菅原道真による

藤原氏の⑪政治

→ ⑫ と子の頼通のとき全盛

・⑥ 天皇が国ごとに

⑦ と国分尼寺を、

都に⑧を建てた

・唐の僧⑨の来日

→^{そうに}僧尼の守る規律などが伝わる

・天台宗…⑬が広めた

・真言宗…⑭が広めた

人々の不安の広がり

→念仏を唱えて阿弥陀仏にすぎる

浄土信仰が広まった

「**字治に**」^⑮ 建立

▼農民の負担

⑬ 文化…中国の⑭ の文化の影響

・国の成り立ちを記した「⑱」・『日本書紀』、

郷土の地理などを国ごとにまとめた『^⑪』

・幅広い身分の歌を集めた和歌集の

②① 文化…日本の風土や生活に合った文化

・ 仮名文字の発明→文学の発達

・紀貫之らが編さんした『²²』など

②③ 収穫^{しゅうかく}の約3%の稲^{いね}

②④ 地方の特産物

庸 労役の代わりに麻の布

年間60日以内の労働

衛士：都へ1年

②⑤ : 九州北部へ3年

確認問題

→類題演習 P.73

① 奈良時代 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 710年、唐の都長安とう ちやうあんにならって現在の奈良に□がつくられた。 ()
- (2) (1)の東西に置かれた市では、□などの貨幣かへいが使われた。 ()
- (3) 奈良時代、都と地方を結ぶ道路に、役人の往来のために□が設けられた。 ()
- (4) 奈良時代、東北地方には蝦夷えみしを支配する拠点として□が築かれた。また、九州には大宰府だざいふが置かれて、外交や軍事などにあたった。 ()
- (5) 6歳以上の男女に口分田くぶんでんをあたえ、その人が死ぬと国に返させた制度を□という。 ()
- (6) 農民が負担した税のうち、収穫しゆかくの約3%の稲を納めた税を□という。 ()
- (7) 農民が負担した税のうち、地方の特産物などを納めた税を□という。 ()
- (8) 農民が負担した税のうち、労役ろうえきの代わりに麻の布を納めた税を□という。 ()

② 奈良時代の仏教と文化 次の問いに答えなさい。

- (1) 奈良時代、唐の制度や文化を取り入れるため、朝廷が中国にたびたび送った使節を何というか。 ()
- (2) 仏教ぶつぎょうの力によって国を守ろうとして、国ごとに国分寺こくぶんじと国分尼寺にを建て、都には大仏をまつる東大寺を建てた天皇はだれか。 ()
- (3) (2)の天皇のころに栄えた、国際色豊かな貴族の文化を何というか。 ()
- (4) 奈良時代に神話や国の成り立ちなどをもとにしてつくられた歴史書は、『日本書紀にほんしよき』と何か。 ()
- (5) 奈良時代、国ごとに地理や産物・伝承などを記したものは何か。 ()
- (6) 奈良時代、天皇や貴族、民衆などがよんだ和歌を集めた和歌集を何というか。 ()

③ 平安時代 次の文中の□にあてはまる語句を答えなさい。

- (1) 794年、□天皇は政治を立て直すため、都を現在の京都市に移した。 ()
- (2) (1)天皇は、坂上田村麻呂さかのうえの たむら まろを□として東北地方に遠征させた。 ()
- (3) 藤原氏は、天皇が幼い時は摂政せつしやう、成人すると関白かんぱくの職に就いて政治の実権を握った。この政治を□政治とよんでいる。 ()
- (4) (3)の政治は、□とその子頼通よりみちの時代に全盛となった。 ()
- (5) 10世紀になると、朝廷は貴族や寺社の所有地である□を認めるようになった。 ()

④ 平安時代の仏教と文化 次の問いに答えなさい。

- (1) 平安時代初め、比叡山ひえいざんに延暦寺えんりやくじを建てて天台宗てんだいしやうを開いた僧はだれか。 ()
- (2) 10世紀前半に新羅しらぎを滅ぼして朝鮮しんらを統一した王朝を何というか。 ()
- (3) 摂関政治のころに最も栄えた、日本の風土や生活に合った文化を何というか。 ()
- (4) 万葉仮名まんやうの漢字を変形させて、日本語の音を表した文字を何というか。 ()
- (5) (4)の文字で書かれた、紫式部むすしきぶの小説を何というか。 ()
- (6) 平安時代に現れた、念仏ねんぶつを唱えて阿弥陀仏あみだぶつにすがる教えを何というか。 ()

練習問題

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

710年、奈良に^{へいじょうきやう}⑧平城京がつけられた。平城宮を中心に貴族の住居、寺院が立ち並び、東西に置かれた市では(⑥)などの貨幣が使われた。いっぽう、地方と都を結ぶ道路が整備され、駅がつけられた。地方支配の拠点として、東北地方に(①)、九州に(②)が置かれた。また、唐の制度や文化を学ぶために、^{けんとうし}遣唐使が派遣された。このころ栄えた、唐からもたらされた大陸の文化の影響を強く受けた文化を^{てんびやう}⑨天平文化という。

律令制のもとで、人々は、^{こせき}④戸籍に登録され、6歳以上の男女には口分田があたえられ、死亡した時には国に返させた。やがて、口分田の不足などから、^{かいこん}⑤743年、新たに開墾した土地を永久に所有することを認める法令が出された。

□(1) 下線部⑧は唐の都をモデルとしている。この唐の都を何というか。

□(2) 文中の⑥にあてはまる語句を答えなさい。

□(3) 文中の①・②にあてはまる語句を次からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 多賀城 イ ^{みずき}水城 ウ ^{こくし}国司 エ ^{だざいふ}大宰府

(4) 下線部⑨について、次の問いに答えなさい。

□① 天平文化は、どの天皇のころの年号をとったよび名か。次から選び、記号で答えなさい。

ア ^{すいこ}推古天皇 イ ^{てんむ}天武天皇 ウ ^{しやうむ}聖武天皇 エ ^{てんじ}天智天皇

□② ①の天皇が仏教の力で国を守ろうとして、地方の国ごとに建てた寺を何というか。2つ答えなさい。

□(5) 下線部④の制度、⑤の法令を何というか。それぞれ答えなさい。

2 右の年表を見て、次の問いに答えなさい。

□(1) Aについて、この都を何というか。また、都を移した天皇を答えなさい。

□(2) Bについて、坂上田村麻呂が任じられた役職を答えなさい。

	社会の動き	文化の動き
794年	京都に都を移す……………A	
9世紀初め	坂上田村麻呂による蝦夷平定……………B	空海・最澄が新しい仏教を広める……………D
11世紀前半	藤原氏の摂関政治全盛…C	^{じやうど} 浄土信仰が広まる……………E

(3) Cについて、次の問いに答えなさい。

□① このころに栄えた文化を何というか。

□② ①のころに発明された文字を何というか。

□(4) Dについて、①空海、②最澄が開いた仏教の宗派をそれぞれ答えなさい。

(5) Eについて、次の問いに答えなさい。

□① このころ、貴族たちが建てた、阿弥陀仏を納める建築物を何というか。

□② ①の建物のうち、^{ひやうどういんほうおうどう}平等院鳳凰堂を建てた人物を答えなさい。

1 学習のまとめ ①・②

(1) _____

(2) _____

(3)① _____

② _____

(4)① _____

② _____

(5)① _____

② _____

2 学習のまとめ ③・④

(1)都 _____

天皇 _____ 天皇 _____

(2) _____

(3)① _____ 文化 _____

② _____ 文字 _____

(4)① _____

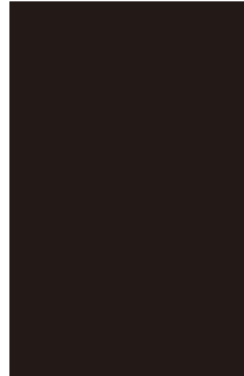
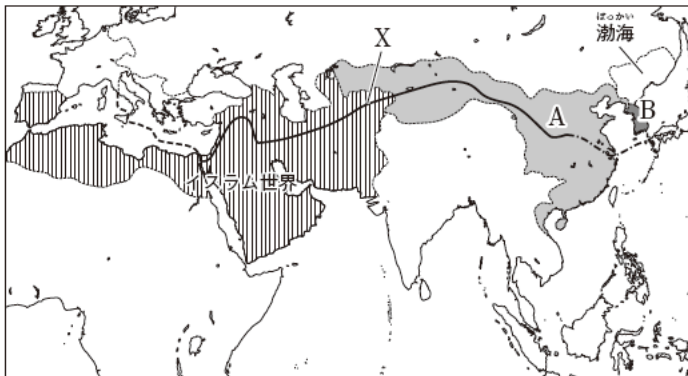
② _____

(5)① _____

② _____

➡ Key プラス

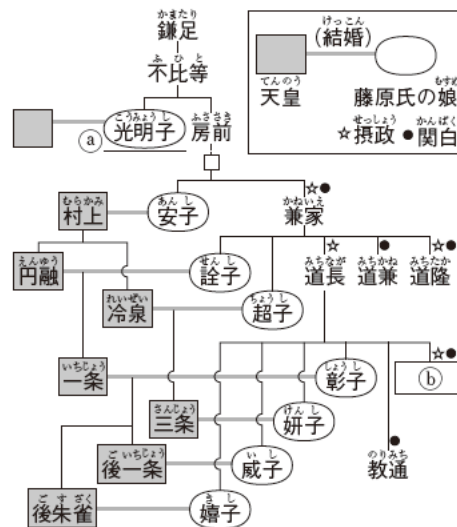
1 次の地図は、8世紀ごろの世界を示している。この地図と右の資料を見て、あとの問いに答えなさい。



- (1) 地図中の A・B の国名をそれぞれ答えなさい。
- (2) 朝廷は、A の国にたびたび使節を送った。その目的を簡単に答えなさい。
- (3) 地図中の X の交通路を何というか、カタカナで答えなさい。
- (4) 資料の美術工芸品は、(3)の交通路を通じて日本にもたらされた。この楽器が保存された東大寺^{とうだいじ}の建築物を何というか。
- (5) (4)に収められた聖武天皇^{しょうむ}の宝物にかかわりのある国として誤っているものを次から 1 つ選び、記号を書きなさい。
- ア 唐 イ インド ウ 新羅^{しんら} エ 高麗^{こうらい}
- (6) A の国に渡ったが、航海の途中で遭難し、帰国できずに A の国で一生を終えた人物はだれか。次から選び、記号で答えなさい。
- ア 小野妹子^{おののいもこ} イ 柿本人麻呂^{かきのものひとまろ} ウ 阿倍仲麻呂^{あべのなかまろ} エ 最澄^{さいちやう}
- (7) A の国から苦難の末に日本に渡ってきた高僧^{こうそう}で、日本に僧尼^{そうに}の守るべき規律を伝えたのはだれか。

2 右の図は、^{ふじわら}藤原氏の系図である。この図を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 下線部③が^{きこう}后となった「ある天皇」は、
国ごとに^{こくぶん}国分寺・^{こくぶん}国分尼寺を建てた。こ
の「ある天皇」とはだれか。
- (2) 「この世をば わが世とぞ思ふ ^{もちづき}望月の
欠けたることも なしと思へば」の和歌
をよんだ人物を、図中から選びなさい。
- (3) 図中の⑥にあてはまる、父とともに^{せつ}摂
^{かん}関政治の全盛期を築いた人物はだれか。
- (4) 図中に示された人物のうち、幼い天皇
の代わりに政治をする役職についた人物
は何人いるか。
- (5) 藤原氏が勢力を伸ばしていった方法を、



1 の答え

(1)A

B

(2) _____

(3) _____

(4)

(5)

(6)

$$(7)$$

2の答え

(1) 天皇

(2)

(3)

(4) 人

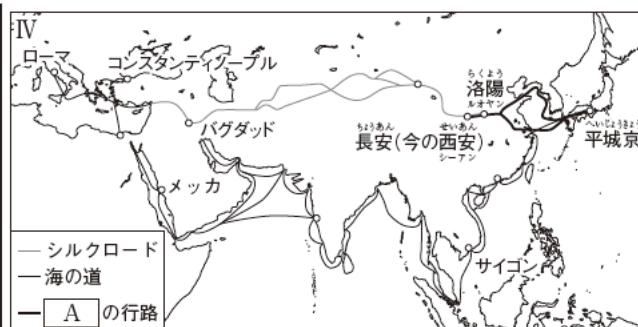
(5)

ここで得点アップ!

1 次の資料を見て、あとの問いに答えなさい。

I 律令制における農民の主な負担

種類	内容
①	収穫の約3%の稲
②	労役の代わりの麻の布
③	地方の特産物
労役	雑徭：年間60日以内の労働
兵役	え じ 衛 士 さ き も り 防 人



(1) 資料Ⅰの①～③にあてはまる語句をそれぞれ答えなさい。

□①() □②() □③()

(2) 資料Ⅰのうち、九州北部で3年間守りにつく兵役はどれか。 □()

(3) 資料Ⅰのような律令制を保つことが難しくなり、743年に墾田永年私財法が出されると、中央の貴族・寺院や豪族、有力な農民はどのようなことを行ったか説明しなさい。

□()

(4) 資料Ⅱは天平文化のころの日本の、資料Ⅲは中国の美術品である。この2つからわかる飛鳥文化とも共通する天平文化の特徴を、資料Ⅳから読み取れることもふまえて説明しなさい。

□()

(5) 資料Ⅳの□Aにあてはまる使節にともなわれて日本にやってきた人物を次から選び、記号を書きなさい。

ア 行基 イ 阿倍仲麻呂 ウ 鑑真 エ 菅原道真 □()

2 左の資料を見て、次の問いに答えなさい。

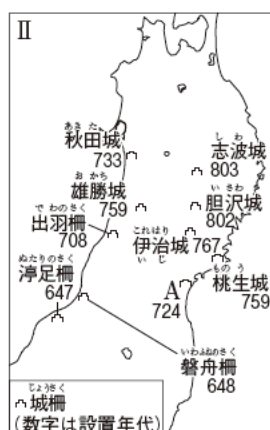


(1) 資料Ⅰは794年に、都を現在の京都に移した天皇である。都を移した目的は何か、簡単に説明しなさい。

□()

(2) 資料Ⅰの天皇は、朝廷の支配に抵抗していた東北地方の蝦夷平定にも力を入れた。

資料ⅡのAは東北地方の支配の最大の拠点となっていた城柵を示している。この城柵を何というか。 □()



(3) 資料Ⅲは摂関政治のころの文化で発明された文字である。この文字を何というか答えなさい。また、このころの文化の特徴を、「風土」の語句を使って簡単に答えなさい。 □文字()

□()

(4) (3)の文字の発明により、この文字を用いた文学が発展した。このころ生まれた作品のうち、清少納言によって書かれた随筆を何というか。 □()

(5) 資料Ⅲのころの文化で、貴族の住居に取り入れられた建築様式を何というか。 □()